

図書館だより

第6号

第7回

手づくり紙芝居コンクール 結果発表

手づくり紙芝居コンクールの最終審査会が、11月3日に行われました。今回は応募のあった91作品の中から13作品が予備審査を通過しました。当日は製作者本人による実演によって最終審査が行われました。審査結果は以下のとおり。

<ジュニアの部>

優秀賞

「あついあつい」



文・絵

次良丸 雄基 次良丸 晟梧

奨励賞

作品名	文・絵
まるとちび	芝あずさ
わたしのむぎわらぼうし	東川弥生
ゲンジボタル (ひかるちゃん)	みずほ会館パソコン学習生
ぼくのともし	梶本侑里
	南方理沙
	平林菜美
たぬぎのかどや	志賀有紗
いもうとをよろしく	岡野侑加

(応募順)

<高校生・一般の部>

優秀賞

「ぼくの子供のころの夢」



文・絵

岡地 篤司 小桑 舞
山内 亜紀 岸 美岐

奨励賞

作品名	文・絵
峠のきつね	運営ボランティアサークル コスモス
大橋のドンカス	桑原邦郎 有北絹代
私の暑い夏	岩橋識字学級
いぼとり地蔵さん	串本町サークル 民話の会
引揚港の子どもたち	太田雄司 脇村英一

(応募順)

知っていますか？和歌山県学習情報提供システム

和歌山県学習情報提供システムへようこそ

●一般の方向けのサービス

事業、施設、団体・サークル、教材等の情報を検索できます。

●県内各機関の生涯学習担当者向けのサービス

一般の方は御利用できません。



きのくに志学ブックへのリンク

和歌山県学習情報提供システムの『一般の方向けサービス』としては、「事業情報」「施設情報」「団体・サークル情報」「教材情報」「蔵書情報（県立図書館蔵書情報検索）」があり、県民の方が生涯学習に取り組もうと思った時に必要な学習情報データをインターネットによりキーワード・開催日（期間）・分類で検索できます。

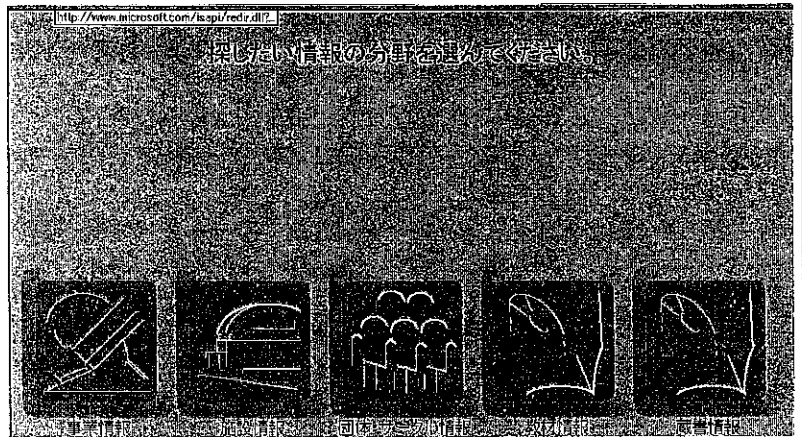
URLは

<http://wgs.wakayama-lib.go.jp/>

です。

平成12年3月1日公開から平成12年12月1日現在で、21,647件のアクセスがありました。

ぜひ、御利用ください。



県内図書館覚書 — 新宮市 —

県内で最も早く創立した公共図書館は、県立ではなく、私立田辺図書館（田辺市立図書館の前身）であったということは、前号で紹介しましたが、それに次いで創立したのが、私立田辺図書館の開館に遅れること僅か三箇月の明治三三（一九〇〇）年五月に開館した丹鶴同窓会附属新宮図書館です。この図書館の創設までの経緯については『新宮市史 資料編下』の七二四頁以下に収録されている「丹鶴同窓会々報」その他によって判明しており、初代館長は『熊野史』の編纂で有名であり、当時新宮高等小学校訓導兼校長であった小野芳彦でした。もともと、同館はこの年の二月に仮開館していましたが、正確にいうならば私立田辺図書館とほぼ同時に創立していたことになります。しかし、その後の詳細については、よく分かっていないようで、同館はいくつかの曲折を経て、大正三（一九一四）年に閉鎖されたとされています。

そして、昭和二八（一九五三）年八月に、新宮市立図書館が、同二三（一九四八）年五月に開設されていた公民館図書室の蔵書を引き継いでオープンしています。

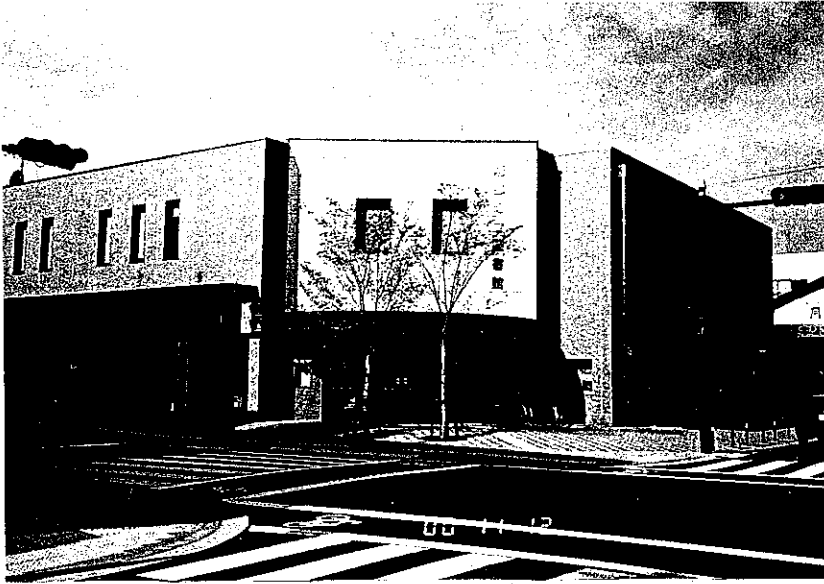
そこで、新宮市では平成十二年を、新宮の地に図書館が誕生して百周年と位置づけ、同年六月「図書館百周年記念事業実行委員会」を設け、この年が「こども読書年」に当たることを踏まえ、絵本と子どもの関係について考える三つのイベントを計画、実施しました。

これらのイベントの実施について、地元新聞の中には新宮市立図書館創立百周年記念の事業として報じた記事を掲載したものもありますが、実際には、丹鶴同窓会附属図書館と市立図書館との間には相当な隔りがあり、前者の蔵書を引き継いだという事実も確認できず、直接的には関係ないと考えられますが、記録がなく、はっきりとはしません。

ともあれ、二〇五三年に迎える、本来の新宮市立図書館百周年にはどんな記念事業が計画されることになるのでしょうか。

（資料課長 須山高明）

21世紀に大きな贈り物 南部町立図書館がオープン



去る11月11日11時11分11秒に南部町立図書館がオープンしました。県内の市町村立図書館としてはちょうど20館目に当たります。

オープンに当たり、PRの記事をいただきましたので、紹介いたします。

昨年、11月11日、南部町立図書館がオープンしました。

当館は、南部町市街地の中心地、旧役場庁舎の跡地に単独の図書館として新築されたものです。周辺には、小・中・高等学校、幼稚園などの教育機関が集積しているほか、二つの金融機関、郵便局、JR南部駅、保健センター、商店街などにもアクセスしやすく、生涯学習センターに隣接した非常に立地条件に恵まれた場所にあります。

図書館では、誰もが身近に感じて、親しまれ、気軽に利用できる図書館をめざしています。そのためにも雑誌等軽読書の収集にも配慮をしています。

当館は、周辺に学校など教育機関が集積していることから、幼児、児童・生徒にかかる図書の充実に努めております。また、毎週土曜日にはボランティアによる「おはなし会」を開いております。

地域資料コーナーには、南部地方の特産物である「梅」に関する資料や県立自然公園「千里の浜」は、天然記念物「アカウミガメ」の上陸産卵地として知られ、これが観察、保護に努めておりますが、これらの資料を網羅的に収集して、地域資料に準じて別置しております。

また、館内には、ミニギャラリー、アンティークオルゴールがあり、ミニギャラリーは、日常的な文化活動の展開を期待しての創作作品の交流の場、或いは美的感動を与える場として位置付けています。アンティークオルゴールは、当館に備えられた高価な珍品で、きめられた時間には美しい曲が流れます。時にはコンサート用にも使われます。

オープンして間もないので、蔵書冊数もすくなく、館の機能が充分発揮されているとはいえません。

職員一同は、資料の充実に努めることを第一義に、図書館の使命といったことも再確認する中で図書館活動の充実に取り組むたいと思っています。

平成12年度 きのくに志学館お楽しみ映画会

第4回 2月17日(土) 午後1時30分～

「長屋紳士録」

小津安二郎 監督

(昭和22年作品：松竹大船作品)

上映時間 1時間12分

出演 飯田蝶子 青木放屁 小沢栄太郎
笠 智衆

会場	きのくに志学館メディア・アート・ホール
会費	大人500円 高校生以下200円
受付	午後1時から会場において (上映開始は午後1時30分)
定員	300名(先着順)
問い合わせ先	和歌山県立図書館 文化情報課 TEL073-436-9530

図書館カレンダー

(平成13年1月～平成13年4月)

1月

日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	④	⑤ 月初 休館日	6
年始休館						
7	⑧ 祝日 休館日	⑨ 振替 休館日	10	11	12	13 おはなし 会
14	⑮ 休館日	16	17	18	19	20
21	⑳ 休館日	23	24	25	26	27 おはなし 会
28	㉑ 休館日	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				① 月初 休館日	2	3
4	⑤ 休館日	6	7	8	9	10 おはなし 会
11	⑪ 祝日 休館日	⑫ 休館日	13	14	15	16
18	⑲ 休館日	20	21	22	23	24 おはなし 会
25	㉒ 休館日	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				① 月初 休館日	2	3
4	⑤ 休館日	6	7	8	9	10 おはなし 会
11	⑫ 休館日	13	14	15	16	17
18	⑲ 休館日	⑳ 祝日 休館日	21	22	23	24 おはなし 会
25	㉒ 休館日	27	28	29	30	31

4月

日	月	火	水	木	金	土
① 月初 休館日	② 休館日	3	4	5	6	7
8	⑨ 休館日	10	11	12	13	14
15	⑯ 休館日	17	18	19	20	21
22	㉓ 休館日	24	25	26	27	28
㉑ 祝日 休館日	㉒ 休館日					

*4月のおはなし会の日程は
現在未定です。

開館時間： 火～金
土・日

閲覧室 10:00～19:00 児童室 10:00～17:00
閲覧室・児童室 10:00～17:00

図書館だより

第6号 (平成13年1月6日)

発行 和歌山県立図書館

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号

Tel 073-436-9500

<http://www.wakayama-lib.go.jp/>

Fax 073-436-9501